

※ 今回、WGに参加いただけていない、北海道創生協議会の有識者である、山崎構成員、川村構成員から書面にて頂いたもの

次期総合戦略の方向性等に関するご意見

有識者ご意見			対応方向 (事務局の考え)
分野	検 証 (現行戦略への意見)	今後の方向性 (次期戦略への意見)	
総論	○道人口500万人割れを目前に、改めて地方創生の原点に立ち返る必要がある。	○従来、等閑視されていた「縮小戦略」をどのように進めるかにフォーカスすべき。	○エビデンスに基づく効果的な「緩和策」をとりつつ、人口減少社会に「適応」するための施策の強化を検討。
少子化・女性の転出超過	—	○出生率の向上に関しては、「結婚したいと思う→結婚相手を見つける→結婚する→子どもを持ちたいと思う→子どもを生む→子どもを育てる」という流れの中で、どこにボトルネックがあるのかを丁寧に分析して対策する必要がある。 ○「非正規雇用だから結婚できない」という例を引用すれば、確かに、両者には相関はあるだろうが、因果関係までは詳しく検証されてきていないと思う。 相関と因果関係を混同せず、もっと科学的な検証をきちんとして対策をたてるべき。	<p><検証について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○抽出した課題等を踏まえ、次期戦略に反映。 ○実施中の「人口減少実態調査・要因分析事業」の結果を踏まえ、次期戦略に反映。 <p><今後の方向性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○次期戦略に向けて、重点的に取り組むべき「緩和策」、「適応策」の方向性を検討。 【資料3】
転出超過 札幌一極集中	○道外と北海道との人口移動の動向に関して、特に、道外流出の要因、テレワーク・ワーケーションブームのフォローが必要。	○広域自治体の道としての戦略なのだから、札幌一極集中問題は、(ラピダスの影響も踏まえ) 真正面から取り組むべき課題。	

次期総合戦略の方向性等に関するご意見（つづき）

有識者ご意見			対応方向 (事務局の考え)
分野	検 証 (現行戦略への意見)	今後の方向性 (次期戦略への意見)	
外国人への対応	—	○外国からの流入増は、日本での労働環境の改善、給与での優位性、そして生活環境での魅力向上が大事。	<p><検証について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○抽出した課題等を踏まえ、次期戦略に反映。 ○実施中の「人口減少実態調査・要因分析事業」の結果を踏まえ、次期戦略に反映。 <p><今後の方向性について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○次期戦略に向けて、重点的に取り組むべき「緩和策」、「適応策」の方向性を検討。 【資料3】
人手不足	—	○道外からの流入増のためには、日本の他の地域と比較して優位な生活環境、給与や条件面で道外に引けをとらない労働環境があるのか、あるならば、どう道外にアピールしていくかが重要。	
人手不足	—	○（人口減少の下では生産性の向上が必須であり）AIの登場をうけて、 <u>AIX、DXを進めることが重要。</u> 「今までこうだったから新しいものを理解、導入できない」、「局所最適解に陥ってしまっ、もっと良い方法があっても現状を変えられない」という状況を強いリーダーシップで打破していくしかない。	
人手不足・広域連携	—	○2016年実施の「振興局・市町村協働ガバナンス事業」の結果も踏まえ、是非、改めて同じ視点（広域連携、垂直補完）での調査を行い、 <u>人口減、人材難の地方の現状を明らかにされることを期待。</u>	
(市町村戦略) 人的支援	—	○道から市町村への職員派遣の成果について、その後の市町村の対応など <u>成果や課題をフォローすべきであり、それにより、道の独自性や成果が明らかになると考える。</u>	